

起業ステップアップ情報

東青地域県民局地域農林水産部(農業普及振興室)
青森市長島2丁目10-3 青森フコク生命ビル6階
電話 017-734-9990 F A X 017-734-8305

大水大喜さんのアイデア満載の体験受入れ

8月30日に平内町の^{おおみずだいき}大水大喜さんが、町内にある山彦幼稚園・保育園の園児23人の野菜収穫体験を受け入れました。

大水さんは、平成23年に就農し、露地やハウスで約40種類の野菜を栽培している若手農業者です。

自分の野菜づくりを是非、地元の人にも見てもらいたいと考え、広報ひらな8月号で夏野菜の収穫体験を募集したところ、週末の家族ぐるみの申込みが多く、今回は初めての団体受入ということでした。



子供達が到着

はじめに、園児達はハウスの骨組みに誘引したミニかぼちゃを1個選んで、大水さんに手伝ってもらい収穫。それぞれ自宅に持ち帰って、かぼちゃスープや天ぷらにしようということでした。

その後、大水さんが考案した“^{エムフィビー}MVPマン”ゲームに挑戦。このゲームは露地のピーマンの中から、重そうなもの1個を選んで、その重さを競うもので、園児達は畑を走り回り「これぞ」というピーマンを探していました。

大水さんは、毎年8月1日から10月末日まで開園し、多くの人に野菜の魅力を伝えていきたいと、話していました。



このかぼちゃがいい!



「66g」でした



一番重いのは、これだ!

よもぎた籐工芸教室にお邪魔しました。

毎月、第1と第3木曜日の午後1時から、蓬田村よもぎ温泉で「よもぎた籐工芸教室」が開かれており、7月17日(木)の教室にお邪魔しました。

主催する八戸ゆき子さんは、夏秋トマトや産直用野菜を栽培する農家女性で、夏場は、野菜の収穫最盛期となり農作業に追われる毎日ですが、教室の日だけはどんなに忙しくても、家族に「行ってきま〜す」といって教室に向かうそうです。

教室の雰囲気は和やかそのもの。籐の籠を編みながら、最近食べたお勧め料理や健康グッズ、テレビニュースなど、様々な話題で盛り上がっていました。完成作品の一部は、よもぎた物産館マルシェよもぎたで販売されています。

4月から通い始めた青森市在住の方は、「マンツーマンで教えてくれるので、初心者でもイメージどおりの籠が作れる」と話していました。



初心者にはマンツーマンで
教えてくれます



作品の一部です



2色編みに挑戦する生徒さん

V-Cup(製品価値評価法)って何？

起業豆知識

V-Cupは、Value Creative up(バリュー クリエイティブ アップ)の略で、商品の製品価値をアップする手法です。

商品の製品価値とは、商品の魅力(お客様がお金を払っても良いと思う部分)で、その魅力がお客様に届かない(買ってもらえない)原因を見つけ出す方法が、V-Cup(製品価値評価法)です。

この手法は、製品を①性能、②機能、③情報、④価格、⑤表情の5つの価値で評価し、商品化する時に不足している価値や高める要素を見つけ出すものです。

そのやり方は、まず、製品の名称、機能、価格、デザイン、宣伝方法などの情報を思いつく限り書き込みます。右のグラフのように表すことで、製品の強みと弱みを確認しやすくなり、社内等でのコミュニケーションがスムーズになり、方向性や修正にブレがないか確認しやすくなります。

新商品づくりの際にこの手法を役立ててください。

競合する商品と比較して



優れている点、不足している点、違いをビジュアル化

やりたいこと、実現できるかも! ~いろいろな制度・施設を活用してみましよう~

お問い合わせ先: 東青地域県民局 地域農林水産部 (農業普及振興室 経営・担い手班)

〒030-0861 青森県青森市長島2丁目10-3 青森フコク生命ビル6階

TEL(直通)017-734-9990 FAX 017-734-8305

